

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月20日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス

コード番号 4929 URL <https://www.adjuvant-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3135

四半期報告書提出予定日 2023年10月27日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年3月21日～2023年9月20日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,213	1.9	△92	—	△87	—	△140	—
2023年3月期第2四半期	2,171	△3.4	33	△87.4	65	△76.0	207	20.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △137百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 213百万円 (22.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△17.62	—
2023年3月期第2四半期	25.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	5,252	4,173	79.5	521.65
2023年3月期	5,551	4,487	80.8	561.02

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,173百万円 2023年3月期 4,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年3月21日～2024年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	2.8	14	△94.0	31	△88.3	△62	—	△7.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料9頁「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	8,043,600株	2023年3月期	8,043,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	43,003株	2023年3月期	45,403株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	7,991,343株	2023年3月期2Q	8,000,349株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年10月23日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算補足説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化を反映して、景気は緩やかな回復基調を維持しました。グローバルでの地政学リスクやインフレに伴う金融引き締めなどによる景気減速リスクは依然として高く、さらに日本国内においては、急速な円安による経済への悪影響や物価高が懸念材料となるなど、先行きの見通しにくい経営環境が続いています。美容業界においては、外出規制やマスク規制の緩和といったアフターコロナの動きが顕著になる中、個人消費活動に持ち直しの傾向が見られ、当社商品を販売するアジュバンサロンにおいても同様の影響がありました。

美容業界のトレンドは、“自分らしく”や“私たちがらしく”など、個性を楽しむ時代へと変化しています。一方、生活用品価格の値上げ継続が見通され、従来のお気に入りをお我慢してやめたり、トレードダウンする傾向が高まる中、美容業界においても顧客の消費マインドの変化が必然として起こりうると予測されます。

このような経営環境のもと、当社グループは、社員、代理店様、サロン様、お客様との「共創」をテーマに、社内外に向けて「美と健康を通じてすべての人に夢と感動をお届けする」という経営理念を浸透させ、ブランドの強化やトレンドを踏まえた製品開発・顧客消費マインドをプラスにする応援への取り組みを進めています。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は2,213百万円（前年同期比1.9%増）となりました。営業活動もコロナ禍前に戻りつつある中、常態化されたオンラインも活用するなど、より効率的に営業活動を実施し、アジュバンサロンのサポートを強化した結果、増収となりました。詳細は区分別売上高の概要を参照ください。なお、アジュバンサロン実稼働軒数は、8,059軒（前年同期比322軒増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増加はありましたが、棚卸資産評価減、広告宣伝費、通信費、研究開発費、販売促進費などの増加および保険解約損の発生により、営業損失92百万円（前年同期は営業利益33百万円）、経常損失87百万円（前年同期は経常利益65百万円）となりました。また、前年同期に発生した投資有価証券売却益263百万円がなくなったことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は140百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益207百万円）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりです。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	808	37.2	849	38.4	40	5.0
ヘアケア	1,425	65.6	1,394	63.0	△30	△2.1
その他	97	4.5	142	6.5	45	46.4
売上割戻金	△159	△7.3	△173	△7.8	△13	-
合計	2,171	100.0	2,213	100.0	41	1.9

(注) 1. ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2C（連結子会社）及び株式会社シアター・プロフェッショナル（連結子会社）の売上高は、「その他」に含んでいます。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しています。

国内海外別売上高は、次のとおりです。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	2,030	93.5	2,105	95.1	75	3.7
海外売上高	141	6.5	108	4.9	△33	△23.6
合計	2,171	100.0	2,213	100.0	41	1.9

（スキンケア）

スキンケア商品の売上高は、顧客消費マインドをプラスにするための企画である「MELECTバウンシー」の増量限定商品や美容師向けの「ミスティⅢ」の増量限定商品が大きく貢献し、前年実績を上回ることとなり、以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は849百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

（ヘアケア）

ヘアケア商品の売上高は、新たなアウトパス・スタイリング剤ブランド「muts hair touch（ミューツ ヘア タッチ）」の上市（2023年6月）による牽引は見せたものの、昨年リニューアル発売をした「Re：>>>BASIC LINE（リベーシックライン）」の導入期売上がリカバーすることが出来ず、既存ヘアケアが前年を下回ることになり、以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,394百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

（その他）

ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に小さくなり回復基調にあります。株式会社2C（連結子会社）は、ネット広告を計画的に実施した結果、順調に定期顧客を増やし売上高も右肩上がりに増加しています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は142百万円（前年同期比46.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して298百万円減少の5,252百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して92百万円減少の3,246百万円となりました。主な変動要因は、棚卸資産90百万円の減少などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して205百万円減少の2,006百万円となりました。主な変動要因は、投資有価証券の減少93百万円、保険積立金の減少73百万円、繰延税金資産の減少29百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して14百万円増加の1,079百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して20百万円増加の660百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加98百万円、返金負債の増加20百万円、未払法人税等の減少56百万円、未払金の減少40百万円などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して5百万円減少の419百万円となりました。主な変動要因は、リース債務（固定）の減少5百万円などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して313百万円減少の4,173百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失140百万円、配当金の支払による減少191百万円、自己株式の処分による増加12百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて24百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,503百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は45百万円（前年同期は357百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失86百万円、減価償却費52百万円、棚卸資産の減少90百万円、法人税等の支払額34百万円などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は104百万円（前年同期比55百万円減）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出100百万円、投資有価証券の売却による収入200百万円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は195百万円（前年同期比56百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払額191百万円などによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期業績予想（2023年3月21日～2024年3月20日）につきましては、2023年4月21日に公表しました業績予想を変更しています。詳細につきましては、本日公表の「2024年3月期第2四半期連結業績予想との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、今後の業績推移等によって通期連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,528,011	1,503,215
売掛金	437,657	528,968
商品及び製品	898,279	832,394
仕掛品	79,605	65,149
原材料及び貯蔵品	243,583	233,305
その他	156,299	88,035
貸倒引当金	△3,992	△4,590
流動資産合計	3,339,446	3,246,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,180,920	1,190,300
土地	579,283	579,283
その他	448,407	457,639
減価償却累計額	△797,110	△817,278
有形固定資産合計	1,411,500	1,409,944
無形固定資産		
無形固定資産	66,078	57,708
投資その他の資産		
投資有価証券	490,498	397,084
長期貸付金	831	1,361
その他	248,970	146,075
貸倒引当金	△5,730	△5,730
投資その他の資産合計	734,570	538,791
固定資産合計	2,212,149	2,006,444
資産合計	5,551,595	5,252,923
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,251	182,661
未払法人税等	89,289	33,124
賞与引当金	89,844	95,405
その他	376,602	348,945
流動負債合計	639,988	660,136
固定負債		
退職給付に係る負債	48,564	48,395
資産除去債務	7,352	7,352
長期未払金	356,345	356,345
その他	12,197	7,180
固定負債合計	424,460	419,273
負債合計	1,064,448	1,079,410

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,580	776,580
資本剰余金	747,694	750,475
利益剰余金	3,012,398	2,679,659
自己株式	△45,341	△32,540
株主資本合計	4,491,331	4,174,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,794	△2,240
為替換算調整勘定	2,609	1,579
その他の包括利益累計額合計	△4,184	△661
純資産合計	4,487,146	4,173,513
負債純資産合計	5,551,595	5,252,923

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年3月21日 至 2022年9月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年3月21日 至 2023年9月20日）
売上高	2,171,971	2,213,804
売上原価	755,500	776,154
売上総利益	1,416,470	1,437,649
販売費及び一般管理費	1,382,945	1,530,318
営業利益又は営業損失（△）	33,525	△92,668
営業外収益		
受取利息	648	532
受取配当金	509	117
為替差益	27,182	23,300
受取家賃	800	300
貸倒引当金戻入額	100	—
雑収入	3,191	2,091
営業外収益合計	32,432	26,342
営業外費用		
支払手数料	228	—
保険解約損	—	20,726
営業外費用合計	228	20,726
経常利益又は経常損失（△）	65,729	△87,052
特別利益		
投資有価証券売却益	263,253	—
リース債務取崩益	—	3,142
特別利益合計	263,253	3,142
特別損失		
固定資産除却損	331	2,894
特別損失合計	331	2,894
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	328,651	△86,804
法人税、住民税及び事業税	16,326	26,689
法人税等調整額	104,482	27,287
法人税等合計	120,809	53,977
四半期純利益又は四半期純損失（△）	207,841	△140,781
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	207,841	△140,781

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年3月21日 至 2022年9月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年3月21日 至 2023年9月20日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	207,841	△140,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	4,553
為替換算調整勘定	4,892	△1,030
その他の包括利益合計	5,159	3,522
四半期包括利益	213,001	△137,258
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,001	△137,258
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年3月21日 至 2022年9月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年3月21日 至 2023年9月20日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	328,651	△86,804
減価償却費	53,627	52,851
特許権償却	137	137
株式報酬費用	4,045	7,350
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△11	598
賞与引当金の増減額（△は減少）	△82	5,561
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	370	△169
受取利息及び受取配当金	△1,157	△649
為替差損益（△は益）	△27,182	△23,300
保険解約損益（△は益）	—	20,726
固定資産除却損	331	2,894
投資有価証券売却損益（△は益）	△263,253	—
リース債務取崩益	—	△3,142
売上債権の増減額（△は増加）	△33,625	△91,311
棚卸資産の増減額（△は増加）	△184,883	90,619
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,108	98,409
その他	△73,430	5,206
小計	△197,572	78,976
利息及び配当金の受取額	1,157	649
法人税等の支払額	△161,467	△34,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	△357,881	45,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,994	△44,141
無形固定資産の取得による支出	△17,260	△4,005
投資有価証券の取得による支出	△500,027	△100,027
投資有価証券の売却による収入	698,011	200,000
保険積立金の積立による支出	△7,958	△1,727
保険積立金の解約による収入	—	54,766
その他	20,179	△767
投資活動によるキャッシュ・フロー	159,951	104,097
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△5,448	△3,239
自己株式の取得による支出	△52,500	—
配当金の支払額	△193,199	△191,854
その他	△228	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△251,377	△195,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,582	21,195
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△417,725	△24,796
現金及び現金同等物の期首残高	1,744,072	1,528,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,326,346	1,503,215

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。

これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。